



ファーマくんがゆく 松本純衆議院議員に聞く

ファーマくん：以下、ファーマ 地下鉄丸の内線の国会議事堂前駅を降り、徒歩2分の所に衆議院第一議員会館がありま

す。その3階の302号室が松本純先生のお部屋です。隣の301号室は元総理の麻生太郎財務大臣のお部屋となっています。今日は、衆議院議員の松本純先生にお話を伺うために、議員会館を訪問しました。

ファーマ 松本先生、本日はよろしくお願ひいたします。まず、先生のご家族構成を教えてくださいませんか？

松本議員 17歳で初めて出会い、まもなく結婚40年を迎える妻・真純(ますみ)、日本オラルドドコモ担当部長の長男・大(だい)、公認会計士で初孫・陸(りく)のパパ

見習い中の次男・真(まこと)、獣医として神奈川県に奉職している三男・哲(てつ)、そして、90歳で益々元気な、我が家のゴッドマザーご母・澄子の五人家族です。

ファーマ 先生は東京薬科大学をご卒業とお伺いしましたが、薬学を選んだ理由を教えてくださいませんか？

松本議員 実家が薬局経営でしたから、「資格を持っていないと後を継げないぞ」と父に脅かされ、自然な流れで薬学を選びました。

ファーマ 日本薬剤師連盟の山本信夫会長と同窓だと聞いていますが、大学でのお付き合いはあったのでしょうか？

松本議員 当時、山本信夫君は写真部、隣の部室に陣取っていたのが私の所属する軽音楽部です。部室への出入りのときなどによくすれ違い、楽しいお喋りをしていました。当時からおしゃべり向上心旺盛な若者が山本君でした。今もなお互いに青春時代を謳歌しながら、お互いの立場から、薬剤

師を取り巻く環境の改善を目指して、語り合っています。

ファーマ 先生のご趣味の一つが音楽演奏だとお聞きしました。何時ごろから、どのような楽器を演奏されたのでしょうか？

松本議員 最初の楽器との出会いは幼少期のヴァイオリン。毎週一回のお稽古がいやで泣きながらやりました。小学校で合唱団に入団、中学ではベンチアーズがぶれでエレキギター、高校は先輩のオフォコースのバンドボーイ、預かったウッドベースをいたずらしているうちに慈恵医大のジャズコンボに引き抜かれ、東京薬科大軽音楽部に行ってもジャズ・ウッドベース、テナーサクソ、ソプラノサクソに夢中。当時、星薬科大のビッグバンドに影響され、東京薬科大でも真似したいと楽器集めに奔走しました。現在は、毎年12月に私の忘年会で当時のメンバーも集まり演奏活動を続けており、永田町の仲間からは、「こんな政治家の忘年会は見たい」とよく言われています。機会が合ったら是非遊びに来てくださる。

ファーマ 薬学を学ばれ、製薬企業、薬局に勤められた後に、政治家を目指されたのはどのような理由だったのでしょうか？

松本議員 資格を取るために薬科大へいき、商売を学ぶためにエスエス製薬のチェーン店回りのプロパーになり、早く医薬分業態勢を整えるべき時とサラリーマンを辞め実家に帰り、店舗の改装、多店化に挑戦。二軒目まではよかったのですが、我が家の目の前の再開発でダイエーが出店することから専門店街に三軒目を強行出店。これが苦しい時代の始まりでした。ダイエーも売り上げが伸びない、うちも売れない、一軒フンポイントで集客することの難しさを学び、商店街・地域全体での活性

化の必要性を強く感じ、地元の同志とともに、街づくり運動に夢中で取り組みました。今でこそ元祖といわれる「野毛太直云」をスタートさせたのもこの頃です。これらの地域活動やJC活動をしている最中に、地元の鉄道・東急東横線の最寄り駅・桜木町駅の廃止廃線の重大事件が勃発しました。一日に八万人の人々が降り降りする駅が無くなってしまふのですから大騒ぎです。この苦境を乗り越えるには地元の声を一つ、政治の力が必要と、地元有力者たちからの要望、後押しで横浜市議員になりました。振り返ってみると、私の政治の原点は「街づくり」といえることができると思います。

市議を3期ほど務めたところで、平成8年に初めての小選挙区制度での衆議院総選挙が実施されることになりました。自分自身は地方政治のヒョッコと思っていました。が、他の地方議員に立候補を決意する者なく、いよいよ一番若い松本が挑戦せよという先輩方の声が大きくなりました。薬剤師連盟の中で先頭になって「国民、患者そして薬剤師のためにも挑戦しろ」と強く支持して下さったのが高橋輝一郎先生でした。私が大きな決断をすることができたのも薬剤師の仲間皆さんのお蔭様と今でも感謝しています。

ファーマ 横浜市議会議員を経て、平成8年の衆議院選挙で初当選をされておられます。しかし、平成12年の選挙では惜しくも次点で落選されましたが、浪人中はどのような活動をされておられたのでしょうか？

松本議員 長い長い3年4ヶ月の間は大反省することそのものが活動でした。初当選して以来ご指導いただいた麻生太郎先生からは、「おい、松本。何票とった？」「8万1千票」「何票、足りなかった？」「1万票」「今お前は反省ばかりして全人格を否定されたと思っていないか？」「百八十度違う自分を創り出そうと苦しんでいないか？ 変えなければならぬのは足りなかった1万票の有権者の声だ。8万を越える有権者は今までの松本に期待している。何が足りなかったのか、よく考えろ！」との一言でした。この一言を胸に、地元での生活すべてが選挙準備活動と

ても過言でない毎日でした。
ファーマ 自民党にとって苦しい選挙戦において、花の一区で松本先生だけが当選されたということがあったと伺いましたが、秘訣を教えてくださいませんか？

松本議員 全国の都道府県の「一区」は県庁所在地などが含まれており、古くから住む人がいる一方で、人の出入りも多いため、「一区現象」などといわれています。「出来ることはすべてやる！」をテーマに、落選中でテレビに出演することなどできない私が知名度を上げるために数え切れないほどの「ポスター」を貼り出し、何を考えているか伝えるために一日も休まず朝の駅前に立ち続け、目の前を通り過ぎる皆さんに「まちかど政治版」を配布。さらに私の毎日の活動を予告するために「ホームページの毎日更新」が必要でした。また、一人でも多くの皆さんとの交流を深めるために「各種会合への参加」に精を出しました。そしてさらに企業秘密の作戦をいくつか実施したところ、無事に、平成15年の総選挙で復帰を果たすことができたのです。

ファーマ 麻生先生が総理のとき内閣官房副長官として、総理の外国訪問時には常同行されたこと伺いましたが、一番の思い出を教えてください。

松本議員 総理大臣の外国訪問には通常、2人の官房副長官が交代で随行しますが、後にも先にも「外交専任官房副長官」を拝命したのは私だけではないでしょうか。すべての外交日程にお供したくさんの思い出もできましたが、最も印象に残っているのは、世界がリーマンショックに見舞われ、2008年11月にフィントンで初めてG20が開かれたときのことです。中川昭一財務大臣と共に随行し、世界経済が立ち直るためのきっかけとして、日本が1000億ドル(10兆円)をIMFに貸し付けると提案したことでした。G20の首脳たちは麻生太郎総理の発言に大きな驚きを見せました。問題解決に前向きに動き出したのはこの日本からの提案だったと私は確信しています。また、翌年1月20日には当時のブッシュ大統領からオバマ大統領

に交代する時期にアメリカを訪れ、政権交代チームのオルブライト元務長官と面談し、「麻生経済再生プラン」を説明する役目を担ったのが、なんと私で、わが国を代表しオバマ政権に初めて接触しました。そして、翌年の2月には世界の首脳で最も早くホワイトハウスに招かれ、オバマ大統領との日米首脳会談を開くことができたのでした。

ファーマ 先生の政治信条を教えてください。

松本議員 「保守」です。人々は皆、自力で生きていこうと努力しています。しかも法律や制度のとり、自分流の生き方を作り上げています。日本の100年を超える老舗は、常に変化しているといわれます。「保守」とは、常に変わらないのではなく、守るべきものを守るため、時代の流れに合わせた「改革」を進めることです。ただ、政治が大きな「革命」を起こし、明日も変わらない平穏な日常生活を描いている人たちが、どのように生きていったら良いか分からななさせたいという心持は許されたいと思います。

ファーマ 奥様は先生の政治活動をどのように思われておられるのでしょうか？

松本議員 「ずいぶん前ですが、あなたが政治の道を進む姿を夢で見ました。本当になってしまいましたね」と、ときどき言われます。全面協力で頭が下がります。

ファーマ 最後に、全国の薬剤師に対してメッセージをいただけませんか？

松本議員 国家資格を持つ薬剤師の皆さんは、国民や患者さんから頼りにされる存在です。制度にがんじがらめで自由が無いと思わないで！ 仕組みを学ぶことを楽しみながら、積極的に能動的な薬剤師を目指して欲しいと思います。同じ薬剤師として皆さんが少しでも働きやすい環境を作っていくため、政治の場から応援していきます。

ファーマ いつも笑顔をやさしく、優しい気持ちにあふれたインタビュアーができました。大臣を目指して頑張ってください。ありがとうございました。

松本議員 こころいって、ありがとうございます。

編集後記

秋の気配が感じられるようになった9月15日、中西敏夫 元日本薬剤師連盟会長が逝去された。温和ではあるものの、一度決めたことは最後までぐれずに突き進むという性格は誠に頼もしく、この会長のため何とかなしたいという気持ちでお世話した。平成14年度の診療報酬改定において、内科・歯科・調剤が同率のマイナス改定となったことを受けての会長就任であり、就任以来多数の国会議員を訪問しては「1:1:0.4」を繰返し訴えていただいた。お陰でその後の改定では公平な改定が守られている。

40年にわたる薬剤師の夢であった薬学教育6年制が、平成16年の通常国会で実現した。5月13日の参議院文教科学委員会における採決を傍聴席からご覧になり、可決された瞬間の笑顔が忘れられない。引退記者会見で会長時代に一番印象に残っている出来事を聞かれ、その瞬間だったと話されていた。

平成18年6月には医療法が改正され、薬局が「医療提供施設」と位置づけられた。処方箋受け取り率が50%を超えるまでに進展したことが背景にあるとはいえ、中西元会長の献身的ともいえる国会議員、医療関係団体、行政等への働きかけには、頭の下がる思いであった。

FAPAの日本開催等中西元会長のご功績は数え切れない。当時の行きつけの飲み屋で、もう一度一緒にお酒を飲みたかった。ご冥福をお祈りする。

広報委員

- 生田泉太郎 安東 哲也
- 大澤 泰輔 鳥海 良寛
- 大原 整 榑方 絢子
- 近藤直緒 美根本 陽充

(K-I)